



海外の研修員にワークショップを指導する片倉代表 (右端)

# 岡谷市民新聞

発行所  
〒394-0028 岡谷市本町3  
岡谷市民新聞社  
編集・発行人 薩摩 正  
電話 記事23・4445  
広告22・8000  
購読22・8001  
事業22・8002  
総務23・4441  
FAX 記事22・4444  
FAX 広告21・1515  
インターネットページ  
www.shimin.co.jp  
E-mail(記事)  
mail@shimin.co.jp  
E-mail(広告)  
koukoku@shimin.co.jp  
©岡谷市民新聞社 2007年  
定価1ヵ月1,690円  
1部売り60円 (税込み)  
市民新聞の購読申込みや  
新聞店への問い合わせは  
☎22・8001へ  
本紙をお届けする販売店  
浜新開店 ☎22・2393  
読売センター岡谷 ☎22・9580  
産経新聞岡谷 ☎22・3881  
中日新聞岡谷 ☎22・4129  
中日新聞大野 ☎22・2835  
唐沢新聞店 ☎23・0896  
□長野地区  
ASA下諏訪営業所 ☎27・8114  
信州版C下諏訪営業所 ☎27・7602  
毎日新聞専売所 ☎28・6014  
矢川新聞店 ☎27・3883  
中日新聞専売所 ☎28・3632

## 「農と人とくらし研究センター」始動

### 川岸出身の片倉さんが故郷で

#### 農村生活の研究生かし 海外研修員受け入れも

岡谷市川岸三沢で、農村生活に関する調査研究などを行う「農と人とくらし研究センター」(片倉和人代表)が活動を開始した。九月に設立総会を開いたあと、現在は内閣府に申請したNPO法人の認証待ちの状態、海外からの研修員を受け入れるなど、すでに活

外からの研修員を受け入れるなど、すでに活発な活動を展開している。地域に根ざした活動にも取り組んでいく方針で、地元では優れた人材の参画を歓迎している。

川岸出身の片倉代表は、諏訪清陵高校から昭和五十四年京都大学農学部卒業。同大学院博士課程、大学講師などを経て、農村生活総合研究センター研究員として農村生活問題の調査研究に従事。平成八年から三年間、国際

協力事業団(現・国際協力機構)のプロジェクト「農村生活改善研究強化計画」に参加し、フィリピンのポホール島で生活。今年三月までつくば市にある独立行政法人・農業工学研究所(現・農村工学研究所)で農村生活の研究を続け、生まれ故郷に戻って「農と人とくらし研究センター」を立ち上げた。

ホームページを通じて、農村生活に関する資料や情報、研究成果などを発信していく。

か、調査研究、コンサルタント事業などを展開。今月十八日から二十日まで、JICA(国際協力機構)が農山漁村女性・生活活動支援協会に委託した農村女性能力向上コースのコンサルタントを請け負い、メキシコやニジェール、フリランカ、タンザニア、イエメン、アフガニスタンなど十カ国から来日した研修員十一人に、三沢区をモデルに生活環境を实地調査した上で地図にまとめ、将来構想図を描いていくワークショップの手法などを指導した。

研修員の案内役として高尾山ろくの変ほろぶりを解説するなど、实地調査に同行した三沢区の内寛区長は「こうした優れた研究者が地元で活躍するのは大歓迎」と活動に協力していく意向。片倉代表も地域とのかわりを大切にしたいとしており、「取りあえずヤギの飼育に挑戦したい」と話すなど、故郷に腰を据えて研究に打ち込みたい考えだ。

# 10カ国から研修員11人来岡 農村女性支援 方策探る



三沢区の生活環境を見て回る研修員

岡谷市川岸中一のNPO法人「農と人とくらし研究センター」(片倉和人代表)に十八日から、各国から研修員十一人が訪れ、農村調査のワークショップを行っている。三日間の日程で同市三沢区の生活環境を調査し、地図にまとめ、将来構想図を描く作業を実施。初日は区内を歩いて回り、環境をチェックした。一行は、国際協力機構(JICA)が農山漁村女性・生活活動支援協会に委託した集団研修事業「農村女性能力向上コース」の研修員。アフガニスタン、カメルーン、イ

ンド、メキシコなど十カ国から訪れ、八月二十七日から十一月十日まで日本に滞在し、各地で研修を行っている。コースは農村女性に普及活動を行う各国の指導者を対象に実施し、参加者間の意見交換や日本の事例研究を通じて、農村女性への効果的な支援方法を習得する狙い。日本の農村開発のプロセスや生活改善に理解を深め、自国に適応した実践の方策を検討している。

同センターでは片倉代表らを講師に、調査を基に構想を作る手法を学んでいる。初日は三沢区の内寛区長の案内で、市営住宅高尾団地、砂防ダム、広畑遺跡など高尾山ろくを二時間ほど歩いて調査した。研修員は「ここで林業を担っている人はどんな人ですか」「この辺りの家は公営ですか」などと各地で熱心に質問し、メモを取っていた。

(宮沢知史)